

題材名	フリースベストを作ろう		
内容・項目	C 衣生活・住生活と自立（3）衣生活、住生活などの生活の工夫について		
指導時間	8時間		
題材のねらい	調理実習には大変興味を示すが、ファッションには興味があっても裁縫には関心が低い。ミシンのない家庭も多く、ジャージのゼッケンつけ、制服の胸章付け、スカートやズボンの裾のまつり縫いなど、出来ないためにそのままの生徒が多い。「ゼッケンつけて、ボタン付けて」と頼んでくる生徒も多く、付け方を教えると言うと「面倒くさい、つけないままでいい」といった現状である。ボタンがとれたら捨てる、とれたままでいいのではなく、既製服の修繕方法をきちんと指導したい。ジャージのゼッケンつけも出来ず、アイロンがけをすると火傷をしてしまったり、布を溶かしたり焦がしたりしてしまう。日常着の修繕方法を覚えながら製作できるものとしてフリースベスト製作を選択した。修繕方法も学び、体の立体構成についても理解し、完成の喜びを体験することにより、生徒一人一人が実生活に結びつけ自ら考えて生活できるのではないかと考える。		
学習の流れ	時間	学習内容	主な指導内容
	1～8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースベストの作り方を知り、適切な縫い方ができる。</li> <li>① 布の裁断</li> <li>② ポケット付け</li> <li>③ 肩脇フードを縫う</li> <li>④ フードを付ける</li> <li>⑤ 脇縫い</li> <li>⑥ 裾縫い</li> <li>⑦ 創意工夫 (端切れを用いて、自分でデザインを考え製作する)</li> <li>・製作したベストのファッションショーを行う。</li> <li>・クラスの仲間と相互評価をし合いまとめる。 (ポケットや裾、フードなどをA,B,C評価を行う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみを安全に使用できる。</li> <li>・製作意欲をもって、積極的に作業に取り組むことができる。【意思決定能力】</li> <li>・返し縫いを忘れず、角の縫い方を正しく縫える。</li> <li>・まち針を正しく打つことができる。</li> <li>・ミシンやアイロンを正しく安全に使うことができる。</li> <li>・思考を凝らし、デザインを考え、環境を意識した創意工夫を考えることができる。【学ぶエネルギー】</li> <li>・自分の製作した作品について、自分らしさを表現できる。</li> <li>・他の人の作品を評価することで、認め合い、自他のよさが分かる。【かかわり】</li> </ul>
準備・材料等	教科書、ワーク、学習カード、見本掲示物、ミシン、裁縫道具、アイロン		